



## 第2回大規模災害対策協議会を開催しました！

9月8日に第2回大規模災害対策協議会をオンラインで開催し、事務局合わせて12名が参加しました。当日は台風13号が接近、上陸が予想されていたことからオンラインでの開催とし、ポイントを絞って短時間でおこないました。

はじめに千葉県生協連尼崎専務より、本日、台風が近付いているので、オンラインでの参加を可能としたこと、ポイントを絞ってなるべく短時間でおこなうこと、台風の準備に備えて緊急の対応が発生した場合は遠慮なくそちらの業務を優先していただくことを確認しました。

続いて本日、初めて参加する中央労働金庫の中村様、高岡様の紹介がありました。

佐久間事務局長より千葉県生協連の災害対応手順書について、記載事項の確認がありました。9月以降は台風等の災害が発生する確率が高くなるので、今回、手順書の確認をおこなうこと、千葉県生協連の対応手順書になるが災害時は会員生協との連携が必要になることから関連する部分を中心に報告がありました。

水島災害対策アドバイザーより「災害に備えた備品・備蓄とトイレの考え方」をテーマにした学習講演をいただきました。はじめに生協がなぜ災害支援をおこなうのか説明がありました。続いて災害を想定した備品備蓄の重要性について説明がありました。最近の異常気象により地震以外の風水害が発生する確率が高まっていることからあらゆる災害に備えなければいけない。重要な課題としては①家族・職員の安全、②電力/通信手段等の確保、③交通手段確保、④事業所内備蓄、⑤BCM（事業継続マネジメント）等の事前の社内教育、⑥顧客の確認、⑦職員の特性である。災害時に行政から下水道やトイレ等の使用制限がされる可能性がある。女性と男性ではトイレに対する感覚が異なりがちなので、女性目線でトイレ対策をしておくことが重要である。なお対策も重要で生ゴミや排泄物、おむつなどの廃棄には強力な防臭効果があり丈夫な「BOS袋」を準備しておくことよい。行車両事前届出済証の定期的な点検、発電機の定期的な稼働点検、最新のハザードマップの事業所掲示、確認・検討して欲しい。

ちば住宅コープから災害時に協力できること、応援できること等の資料が紹介されました。日本生協連中央地連の柳下さんより中央地連大規模災害対策協議会の報告、2022年度のまとめと2023年度活動計画について報告がありました。

次回は11月30日（木）10：00からになります。

以上



全体の様子